

西表島の植物誌

シダ植物



林野庁 九州森林管理局
西表森林環境保全ふれあいセンター

はじめに

西表島は日本最大規模のマングローブ林をはじめとする亜熱帯の原生林とわが国最大のサンゴ礁「石西礁瑚」に囲まれ、固有種であるイリオモテヤマネコをはじめとする希少な野生動植物が生息・生育する豊かな自然環境に恵まれています。

この西表島に国有林野を活用し自然再生活動に取り組むNPO団体や環境教育に携わる教育関係者等への支援活動の強化等を図るため、西表森林環境保全ふれあいセンターが平成16年4月に設置されました。

同センターでは、これまで西表島の小・中学校の学校行事である西表島横断、古見岳やテドウ山の登山、登山前の事前学習会等の支援を行ってきました。また、森林環境教育の教材として、「西表島での自然環境教育カリキュラム」、「西表島の名木集」等を作成し、西表島の小・中学校に配布し、活用いただいております。

今回、森林環境教育の教材として「西表島の植物誌」を作成することができました。これは、西表島は固有種が多く、全国的な植物図鑑ではなかなか植物名が特定できないこともあり、西表島での森林環境教育を推進する上において、是非とも必要な教材でした。

本書は、西表島でのフィールドを活用した自然再生活動に取り組む教育関係者、行政機関、各種団体、西表島の自然環境に関心のある方々の一助になれば幸いです。今後ともご意見、情報等を頂きながら、さらに補完・充実させていきたいと考えております。

最後になりますが、本書の発刊までに多くの皆様方にご指導ご協力を戴き、かつ具体的なお意見等を賜りましたことに対しまして、ここに厚くお礼申し上げます。

平成22年3月

九州森林管理局長 沖 修司

目次

<small>もくほんるい</small> 木本類	P 1	—	P 99	
<small>そうほんるい</small> 草本類	P 101	—	P 122	
<small>しよくぶつ</small> シダ植物	P 123	—	P 128	
<small>まちかど しよくぶつ</small> 街角の植物	P 129	—	P 138	
<small>さんこうしりよう</small> 参考資料					
<small>いりおもてしま がいよう</small> 西表島の概要	<small>さんこうしりよう</small> 参考資料	1 —	<small>さんこうしりよう</small> 参考資料	3
<small>ほん つか かた</small> この本の使い方	<small>さんこうしりよう</small> 参考資料	4		
<small>ようご かいせつ</small> 用語の解説	<small>さんこうしりよう</small> 参考資料	5 —	<small>さんこうしりよう</small> 参考資料	11
<small>けんさく</small> 検索	<small>さんこうしりよう</small> 参考資料	12 —	<small>さんこうしりよう</small> 参考資料	16

シダ^{しよくぶつ}植物

ヒカゲヘゴ

科名: ヘゴ科
別名: モリヘゴ
学名: *Cyathea lepifera*

属名: ヘゴ属
方言名: バラピ



●森林内の日当たりが良く、ある程度湿った谷間等に生え、高さ10m以上になる大型で常緑のシダ植物です。幹の表面には葉が落ちた痕跡として楕円形の模様が残ります。幹の先端にはふとて渦巻き状の新芽が発生して延びていきます。葉は幹の先端に集まり、長さ1-2m程度、長いものでは2.5mにも達します。

クロヘゴ(オニヘゴ)

科名: ヘゴ科
学名: *Cyathea podophylla*



●林内に生える常緑のシダ植物で、茎は直立し、茎の高さは1.5m程度になります。葉の長さは1-2mです。葉柄は短く、長さ40cm程度、全体に小さなこぶ状の突起があります。

ホソバリユウビンタイ

科名: リュウビンタイ科
学名: *Angiopteris palmiformis*



●山地の谷間等の湿地の多い場所に生え、大型の常緑のシダ植物です。葉の長さは65-70cmです。和名の「龍鱗」は株の托葉が重なり合い、龍の鱗に似ているからといわれています。リュウビンタイよりも大型です。

ヒリュウシダ

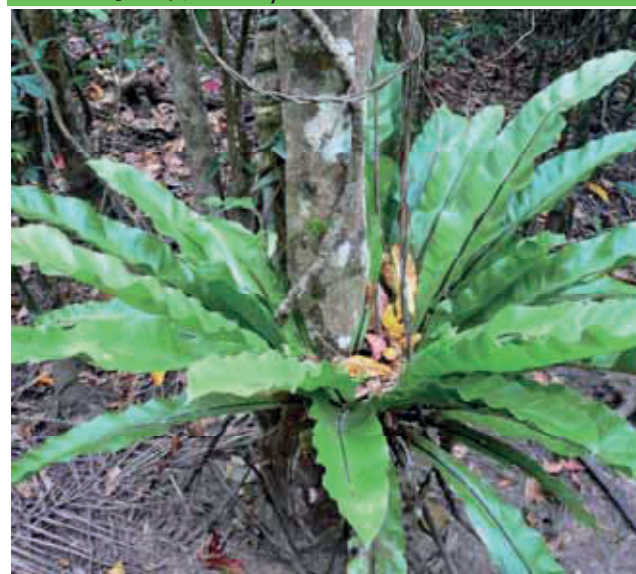
科名: シシガシラ科
学名: *Blechnum orientale*



●低地から山地の明るい林内や林縁に生える大型で常緑のシダ植物です。葉は緑色、革質で無毛、長さは60-150cm、幅25-45cmです。新葉は鮮紅色をしています。

ヤエヤマオオタニワタリ

科名: チャセンシダ科
学名: *Asplenium setoi*



●林内の樹木などに着生する常緑性のシダ植物です。葉は多数を放射状に出し、長さは1m程度で、葉の中央は黒っぽく膨らんでいます。

タカワラビ

科名： タカワラビ科
学名： *Cibotium barometz*



●低地から山地の^{ていち}日当たりが^{さんち}良く^ひ湿気^あのあるところに^よ生える^{しっけ}大型^はで^{おおがた}常緑^{じょうりよく}の^{しよくぶつ}シダ^ね植物^おです。^う根^ねの^{くき}茎^おは^{おう}黄^{ごんしよく}金色^けの^お毛^おに^お覆^おわれます。^は葉^はの^な長^{なが}さは^は2-3m^{たつ}にも^{たつ}達^しします。^{ぐんらんく}群落^{せいいく}とな^{せい}って^{せい}まと^{せい}まって^{せい}生^{せい}育^{せい}して^{せい}います。

ハチジョウカグマ(台湾ンコモチシダ)

科名： シシガシラ科
学名： *Woodwardia orientalis*
var. *formosana*



●低地から山地の^{ていち}日当たりが^{さんち}良く^{しっけ}湿気^あのあるところに^は生える^{おおがた}大型^{じょうりよく}で^{しよくぶつ}常緑^はの^{かくしつ}シダ^{あつ}植物^{なが}です。^は葉^はは^は革^{かく}質^{しつ}で^{あつ}厚^{なが}く、^{なが}長^{なが}さは^{なが}2m^{なが}にも^{なが}なり、^{しよくぶつ}小葉^はの^は葉^は先^はは^は尾^び状^{じょう}になって^{しんよう}います。^{しんよう}新葉^はは^{しんよう}鮮^{せん}紅^{こう}色^{しよく}をして^け毛^けが^は生^{せい}えて^{せい}います。^{しんよう}小葉^はの^は葉^はの^は表面^はに^{ひようめん}茶^{ちや}色^{いろ}をした^{むせい}無^む性^{せい}芽^がと^めいう^め芽^がを^{ほか}たく^{ほか}さん^{ほか}つ^{ほか}ける^{ほか}ので^{ほか}他の^{ほか}シダ^{ほか}と^{ほか}見^み分^わける^わことが^わでき^わます。

ミミモチシダ

科名： イノモトソウ科
学名： *Acrostichum aureum*



●日^ひ当^あたり^あが^あ良^よく^あマ^あン^あグ^あロ^あー^あブ^あ林^あの^あ汽^あ水^あ域^あの^あ湿^あ地^あに^あ生^あえる^あ常^あ緑^あの^あシ^あダ^あ植^あ物^あで^あす。^あ葉^あは^あ革^あ質^あで^あ無^あ毛^あ、^あ長^あい^あ楕^あ円^あ形^あで^あ長^あさは^あ1-2m^あで^あす。^あ葉^あの^あ裏^あ側^あには^あ孢^あ子^あを^あつ^あけ^あて^あお^あり、^あ黒^あ褐^あ色^あを^あして^あい^あます。

ヤブレガサウラボシ

科名： ヤブレガサウラボシ科
学名： *Dipteris conjugata*



●日^ひ当^あたり^あの^あ良^よい^あ斜^あ面^あ等^あに^あ生^あえ、^あ高^あさは^あ2m^あにも^あなる^あ常^あ緑^あの^あシ^あダ^あ植^あ物^あで、^あ茎^あの^あ径^あは^あ1cm^あ程^あ度^あで^あす。^あ葉^あは^ああ^あま^あり^あ厚^あく^あな^あら^あず、^あ深^あ裂^あし、^あ長^あさ^あ25-50cm^あで^あす。^あ葉^あは^あ唐^あ傘^あが^あ破^あれて^あい^ある^あよ^あう^あに^あ見^あえる^あこ^あと^あら^あこの^あ名^あが^あつ^あいた^あと^あい^あわ^あれて^あい^あます。

オオヘツカシダ

科名： ツルキジノオ科
学名： *Bolbitis heteroclita*



●林内の陰湿な岩の上などに生える常緑性のシダ植物です。葉は頂小葉1枚が特に長く伸び、小葉の5対以下から構成されており、長さは10-30cmです。葉は革質で無毛、葉の縁は全縁かごく浅い波形です。

コウモリシダ

科名： ヒメシダ科
学名： *Thelypteris triphylla*



●山地の林内に生える常緑性のシダ植物です。光合成を行う栄養葉の柄の長さは8-15cm、胞子をつける胞子葉の柄の長さは15-25cmです。葉は革質で3出複葉をしており、葉柄に毛があります。

ナナバケシダ

科名： オシダ科
学名： *Tectaria decurrens*



●山地に生育する常緑のシダ植物です。葉の中央の軸に沿って翼があり、脇に着く葉(側羽片)とともに葉を構成しています。葉の形が色々違うことから名前が付いたといわれています。葉の先は尾状形で、浅い鋸歯があるか全縁です。

スジヒトツバ

科名： スジヒトツバ科
学名： *Cheriroleuria bicuspis*



●低地から山地の斜面に生える常緑性のシダ植物です。葉の柄の長さは20-50cm、光合成を行う栄養葉は革質で広い卵形、長さ10-20cm、葉の先は鋭形か二叉に裂け、葉脈が自立ちます。胞子をつくる胞子葉は別にあり、長さは10-15cm程度です。

アマクサシダ

科名：イノモトソウ科
学名： *Pteris dispar*



●林内のやや乾燥したところに生える常緑の多年生のシダ植物です。葉は30-70cm、葉の柄は赤褐色で光沢があります。先端と側葉の3つの葉を見ると鳥が羽を広げた形や天使が羽を広げた形にも見えます。

オキナワクジャク

科名：ハウライシダ科
学名： *Adiantum flabellulatum*



●林内の乾燥したところに生えるシダ植物です。葉軸と小葉の柄に毛があり、若い葉は赤い色をしています。葉の形がクジャクが羽を広げたように見えることから名前がついたともいわれています。

コシダ

科名：ウラジロ科
学名： *Dicranopteris linearis*



●常緑のシダ植物です。葉は柄つきの高さが約2m、葉の裏は灰白色で6-15個の孢子嚢があり、葉の柄の先から枝分かれして葉を伸ばします。コシダが群生するところでは他の植物の侵入が難しくなります。

ヤンバルタマシダ

科名：ツルシダ科
学名： *Nephrolepis hirsutula*



●日当たりの良い湿った場所に生育する常緑のシダ植物です。葉は革質で葉先に向かって狭くなり、長さ約50cm、幅20cmです。葉は直立し、葉の軸は暗褐色をしています。

マツバラン

科名: マツバラン科
学名: *Psilotum nudum*



●木に着生するシダ植物です。葉と根はなく、茎は二又やほうき状に分岐し緑色で無毛、長さは30cmに達するものもあります。帚のようにみえることからホウキランともいわれています。茎の先端には胞子のうがあり、熟すと黄色くなります。

ミズスギ

科名: ヒカゲノカズラ科
学名: *Lycopodium cernuum*



●低地から山地の林縁などの日当たりの良いやや湿ったところに生える常緑のシダ植物です。茎は地上を這い、地上を這う茎から約50cmにも達する直立した茎を出します。胞子嚢穂は先端から下向きにつきます。

イリオモテシャミセンヅル

科名: フサシダ科
学名: *Lygodium microphyllum*



●低地の日当たりの良い荒地などに生育する常緑性のつる状のシダ植物です。葉柄は暗いわら色で無毛です。小葉は長楕円形で葉先は狭くなり、基部は切形です。葉は虫さされなどの民間薬として利用することがあります。カニクサに似ています。

ナガバカニクサ

科名: フサシダ科
学名: *Lygodium japonicum* var. *microstachyum*



●低地の林縁や畑地等に生える常緑性のつる状のシダ植物です。茎のように見えるのは1枚の葉がつる状に伸びたもので、葉のように見えるのは左右に分岐した羽片です。羽片は手を開いたような掌状の形をしています。